

# 広沢小だより7月臨時号

令和4年7月22日  
京都市立広沢小学校

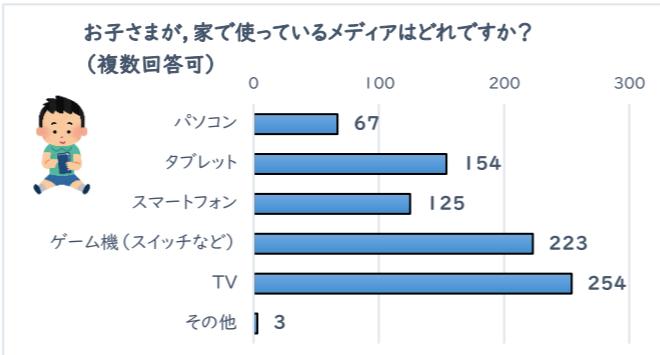
## 「メディアアンケート」の結果のお知らせ

6月の「すこやか週間」で子ども達や保護者の皆様に実施した「メディアアンケート」の結果をお知らせします。保護者の皆様には、Formsでの回答をお願いしました。保護者の皆様からの回答は、全体で82.6%と非常に高く、保護者の皆様の関心の高さを感じました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

### Q1: 家で使っているメディアは? TV・ゲーム機・スマートフォンを使っている子が多い!

左のグラフを見ると、やはり「TV」「ゲーム機」を使っている子ども達が多いことが分かります。(保護者 TV:86.2%、ゲーム機:72%)

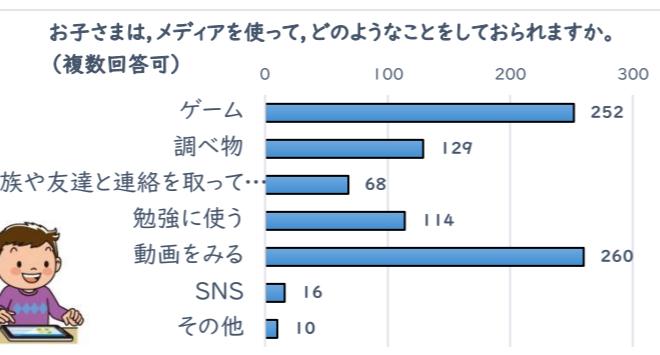
「ゲーム機」に関して、学年別に回答数を比較すると、あまり学年で差がなく、1年生から6年生までほぼ70~80%の使用率でした。「スマートフォン」について見てみると、全体では41.8%でした。しかし、6年生の結果は、62.2%と、高学年になるほど使用率が増えていました。



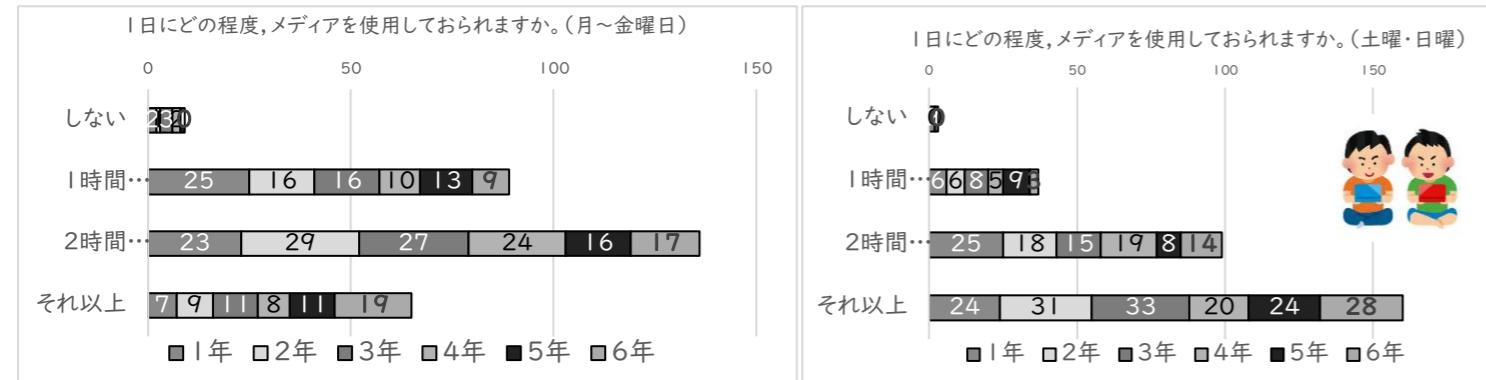
### Q2: どのようなことにメディアを使っている? ゲーム・動画に使っている子が多い!

「ゲーム」が多いことは予想できましたが、今回の結果では、「動画を見る」という回答が多く(保護者87%、児童67.4%)でした。インターネットでYouTube等を見ている子が多いのではないかと考えます。

また、「家族や友達と連絡を取っている」「SNS」は、全体としては少ないのですが、高学年になるほど使用率は高くなります。高学年での情報モラルの学習の必要性を感じました。



### Q3: 1日にどれくらいメディアを使っている? 土・日曜日の使用時間が長い!



今回のアンケートの結果では、平日は「2時間まで」、休日になると「それ以上」、メディアを使っている子が多いことが分かりました。「勉強にどれくらい使っていますか?」という質問に対する回答では、「しない」という回答が増え、「勉強以外」に対する回答は、平日「2時間まで」、休日「それ以上」が多くなることから、メディアを使って勉強をしている子は少なく、Q2 の回答の「ゲーム」や「動画を見る」にメディアを2時間、または、それ以上も使っている子が多いことが分かりました。

### Q4: メディアを使用することで「よい」と感じることは? ストレス解消・楽しいと思うこと増えた

メディアを使うことで、「ストレス解消」「楽しいと思うことが多くなった」と感じている保護者・児童が多いことが分かりました。(保護者 ストレス解消: 43.8%、楽しいと思うことが多くなった: 35.1%)

また、学年別に見していくと、「ストレス解消」「楽しいと思うことが多くなった」さらには、「気分が明るくなった」と回答しているのは、高学年になるほど増えていきます。逆に、「家族と話をすることが多くなった」「いろいろなことに挑戦しようと思うようになった」と回答しているのは、低学年の方が多い結果でした。低学年の頃は、家族で楽しみながら使っているけれども、高学年になるにつれ、一人でメディアを使うようになっている状況があるのでないかと思います。

### Q5: メディアを使用することで「よくない」と感じることは? 外で遊ぶ時間が少なくなった…

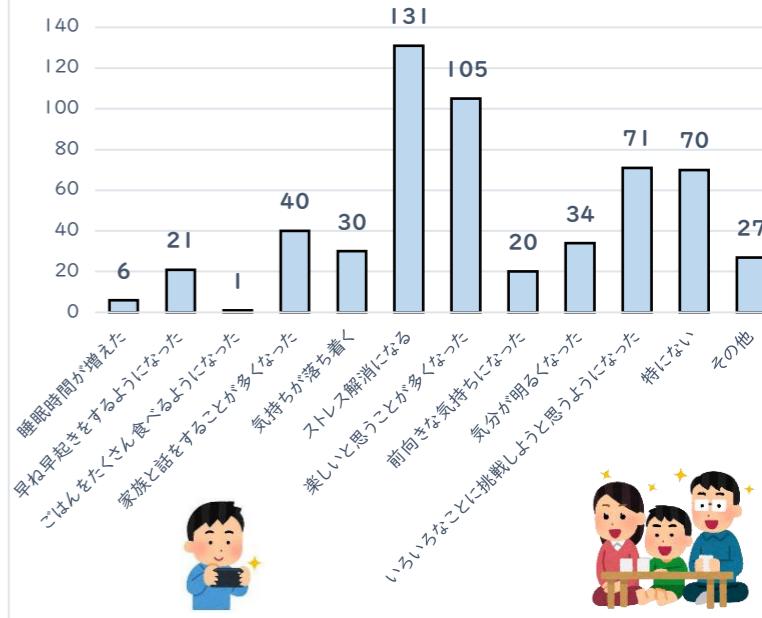
メディアを使うことで「よくない」と感じることについては、保護者の回答では、「外で遊ぶ時間が少なくなった」が最も多く、36.1%でした。学校では、外で遊ぶ大切さについて話をしています。コロナ禍の影響もあるとは思いますが、メディアを使うことで外遊びが減っていることは大変残念に思います。けれども、学校では外で遊ぶことを楽しんでいる子ども達が多くいます。学校で思いっきり体を動かして遊ぶことを大切にしていきたいと思います。

また、他にも「視力が悪くなかった」(25.8%)、「早ね早起きがしにくくなった」(15.7%)、「勉強時間が少なくなった」(15.4%)、「睡眠時間が少なくなった」(14.7%)、「生活リズムがくずれるようになった」(14.7%)という回答が多く見られました。その回答は全体として少ないように感じますが、高学年になるほど、その回答数は増え、30%を越えます。やはり、高学年になるほど生活が乱れる、視力が悪くなる等の影響が出ているようです。

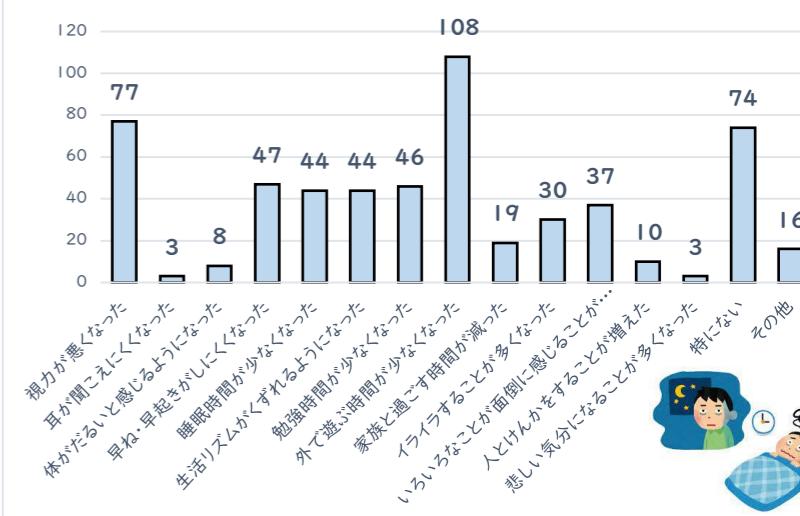
しかし、「よくない」と感じることは「特にない」という回答も24.7%あり、メディアを使うことで生活が乱れたり、体に影響を及ぼしていたりすることなく、おうちで約束等を守って使っている子も多いのではないかと考えられ、安心しました。

掲載しているグラフは、説明がないものについては「保護者」の集計結果です。

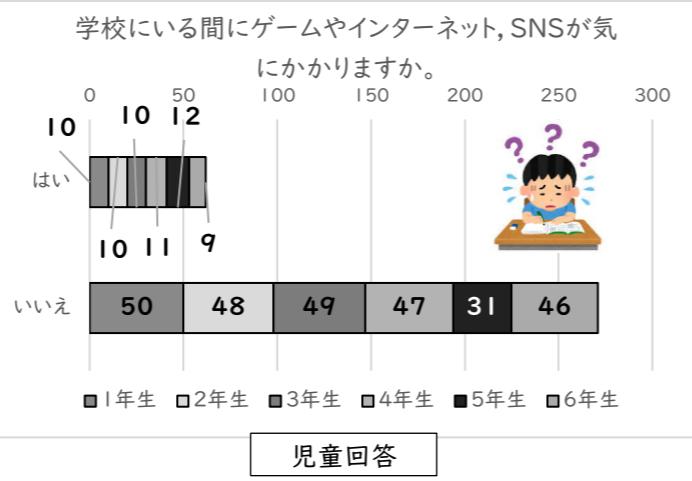
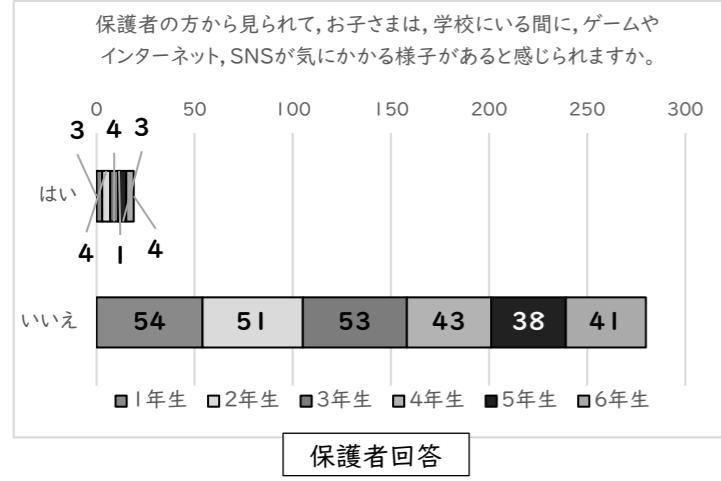
保護者の方から見られて、メディアを使用することで、お子さまが「よい」と感じていると思われることはありますか?



保護者の方から見られて、メディアを使用することで、お子さまが「よくない」と感じていると思われることはありますか?



## Q6:学校でもゲーム・インターネット・SNSが気になるかかる？ 少数ですが…



子ども達が、学校でもメディアのことが気になるかどうかを尋ねたところ、保護者の回答では「はい（気になっている）」という回答は少数でした。しかし、児童の回答は保護者の回答よりも多く、20%近くが「はい（気になっている）」と答えています。そして、それはどんな様子かと尋ねたところ、「勉強に集中できない」「早く帰りたいとばかり考えている」を選ぶ子も少数ですがいました。

これに関しては、少数ですがいることを重く受け止め、教職員で再度学習に集中できる環境・授業を考える必要があるとともに、「メディア依存症」になっている児童はいないか、保護者の皆様とも連携を図っていきたいと思います。

## Q7:今までにトラブルは？ 少数ですが…

今までにトラブルがあったかどうかを聞くと、「はい（あった）」という回答は少なく、保護者で4%、児童で6.6%でした。

その内容を見ると、児童の回答では「人間（友だち）関係」が多く、どのようなトラブルか、学校でも把握していく必要を感じました。今回の調査で、友だちと連絡をとり合ったり、SNSを利用したりという使い方をしていることが分かりました。その使い方についてはさらに学習・指導をしていく必要があると感じています。

また、「お金関係」のトラブルがあったという回答もありました。子ども達が犯罪等に巻き込まれることがないよう、メディアの恐ろしさの側面をこれからも伝えていかなくてはいけないと感じています。

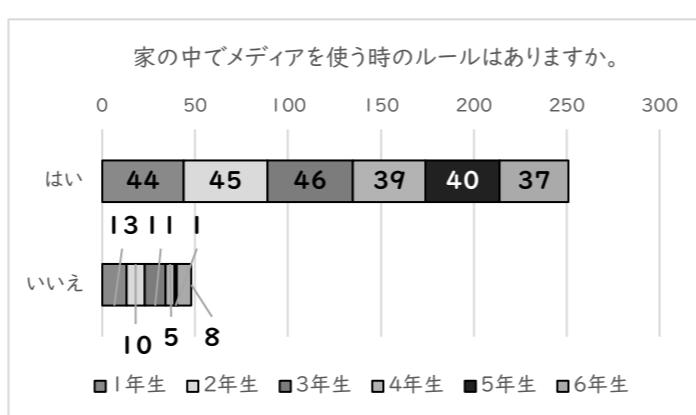
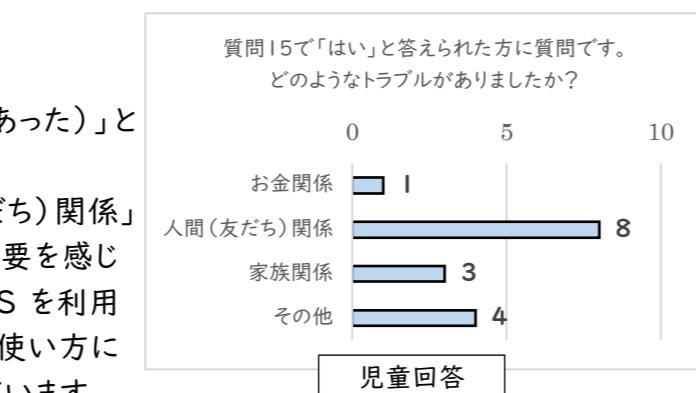
## Q8:家の中のルールは？ いろいろなルールを作り、守ろうとしている子ども達

おうちでルールを決めてメディアを使っている子が多いことが分かりました(83.9%)。

しかし、16.4%のおちはルールがなく、どのように使っているのか、ルールがなくとも安全に生活や体等に影響が出ないように使っているのか、気にかかります。

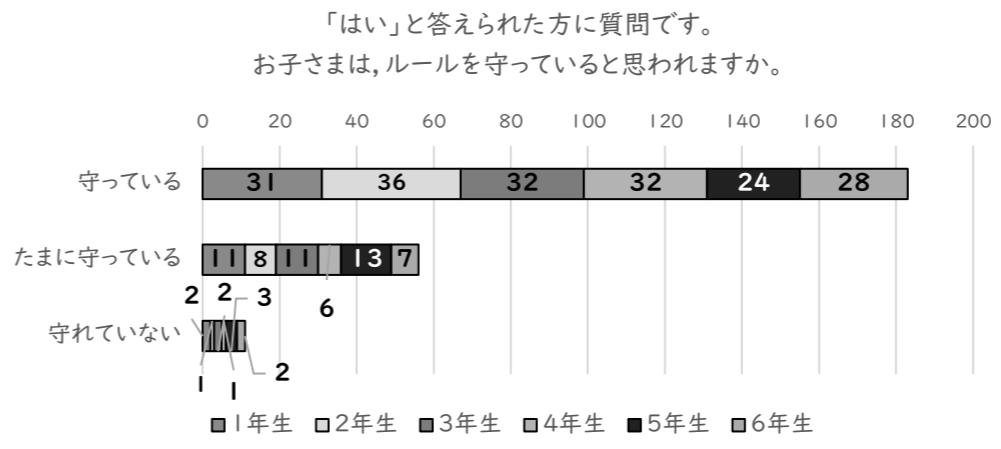
ルールの内容を見てみると、右上のような回答がありました。各家庭でいろいろなルールを作って、子ども達の安全・生活を守っていただいているのだと感じました。

学校でもメディアの使い方等については指導していますが、どのようなルールがあるとよいのか、ぜひ学級懇談会等でも、おうちの方同士が交流していただける場面が作れるとよいのではないかと考えています。



また、おうちでのルールが守れているかを尋ねた質問では、多くの保護者が「守っている(72.9%)」と回答しています。

しかし、「たまに守っている(22.3%)」「守っていない(4.4%)」という回答がありました。どんなルールが守れていないのか、大変気にかかります。子ども達がメディアを使うことは楽しみでもありますが、危険・トラブル・生活への影響といった怖い側面もあります。まだまだおうちの方の管理のもとでメディアを使ってほしいと思いますので、この夏休みに、おうちでメディアの使い方、使用時間等ルールの見直しをし、それを守ることの大切さについて話し合ってほしいと思います。



- 時間制限を設ける
- 課金しない
- 親がいるときに使用
- 回数制限を設ける
- やるべきことをやってから
- 目を離して使用する
- 兄弟喧嘩するなら禁止
- 平日禁止
- 休憩時間を設ける
- 親に許可を得てから使用
- ダウンロードを勝手にしない
- 外で使用禁止
- チャット・コメントをしない
- わからないことは聞く
- 他の人とオンラインしない
- ゲームをしない
- テレビに繋いで見る
- ルールを守る
- 生活リズムを守る
- 親に預ける



今回の結果から、子ども達のメディアに関する状況がさらに明らかになりました。

教職員が予想していたよりも、子ども達はメディアにたくさん触れながら生活を送っていることが分かりました。その使い方も、「ゲーム」にとどまらず、「動画を見る」や「SNS」等が、予想以上に子ども達の身近なものになっていることに驚きました。また、学校でもそのことが気になっている子がいたり、メディアでのトラブルが起きている子がいたり、心配な状況も分かりました。

学校では、『GIGAスクール構想』のもと、ICTを使った学習を進めています。学習に生かし、学習に意欲的に取り組んだり、学習の効率化を図ったりしたいと考えています。広沢小学校の子ども達は、GIGA端末の操作にすぐに慣れ、目を輝かせて自分で工夫をしながらGIGA端末を使った学習に取り組んでいます。

しかし、そこにはいつも間違った使い方をすると危険があるということも、子ども達に伝えていかなければならぬと感じています。7月の「ハッピーデー学習」でも情報モラルについて学習し、「すこやか週間」でもメディアを使いすぎることの怖さや生活リズムを整えることが大切なことを学習しました。これらの学習は、一度行ったから大丈夫と考えず、何度も繰り返し学習を積み重ねていきたいと思っています。ぜひ、おうちでもそれらの学習について子ども達に聞いていただき、この夏休みにおうちでも、使い方やルールの見直しについて話し合ってほしいと思います。

この夏休み、1年生以外はGIGA端末を持ち帰ります。でも、学校にはルール・きまりがあります。GIGA端末は学校からの貸出ですので、勝手な使い方をせず、ルール・きまりを守って、学習に役に立つ使い方をしてほしいと思います。

そして、夏休みは、ぜひ家族で楽しい時間を過ごす機会にしてほしいと思います。メディアから離れて、外で体を動かすこと大切にしてください。それが、心も体もたくましくし、2学期以降のがんばる力になると思います。どうか楽しく、充実した夏休みが過ごせるよう、ご家庭のご協力・ご支援をよろしくお願いします。

